

2021年6月

受験生各位

昭和女子大学アドミッションセンター

大学院入試（福祉社会研究専攻 1年制コース）オンライン試験実施について

大学院入試（福祉社会研究専攻 1年制コース）のオンライン試験実施に伴い、実施方法と受験にあたって必要な機器環境および注意事項を下記に示します。受験者は必ず確認し、必要な環境を調べてください。

記

1. 機器環境

(1) コンピュータ (PC)

- ・インターネットに接続可能なパソコンを用意すること。ただし、Web 会議システム Zoom の推奨要件を満たす性能を有するものに限る。Zoom の推奨要件は「Zoom ヘルプセンター (<https://support.zoom.us/hc/ja>)」を参照すること。
- ・PCに事前に Zoom をインストールすること。
- ・事前に Zoom アカウントを取得し、Zoom ミーティング接続時はサインインした上で接続できるようにすること。

(2) インターネット

- ・ブロードバンドのインターネット接続環境を用意すること。有線、無線は問わないが、オンライン試験時間中はインターネットに常時安定して接続する必要がある。

(3) 映像機材

- ・PCに接続されている720p以上の解像度のWebカメラを用意すること。内蔵、外付けは問わない。ただし、Webカメラに目隠しやフィルターをかけることは認めない。
- ・試験時間中の映像遮断はいかなる理由によっても認めない。映像遮断が続いた場合、不正行為と判断して試験を中止する。

(4) 音声機材

- ・音声の送受信ができるPCを用意すること。PC内蔵の機材でも構わないが、周囲の雑音などを軽減するため、マイク機能付イヤホンやヘッドセットの使用を推奨する。

(5) 連絡手段

- ・受験時の接続トラブル等に対応するため、緊急連絡用に通話機能のある通信機器（スマートフォンなど）を用意すること。

2. 試験実施方法

(1) Zoom ミーティングの入室

- ・受験生は指定された Zoom ミーティングに入室し、口述試験を実施する。Zoom の映像と音声は常時オンとする。
- ・実施中に Zoom のトラブルがあり、受験状況が確認できない場合には、受験生に即時の再接続を求める。応じない場合は不正行為と判断して試験を中止する。

(2) 時間割および試験時間

- ・時間割および試験時間は要項の記載と同一とし、要項で指定した日に本学より登録メールアドレス宛に詳細を連絡する。
- ・試験開始 5 分前に所定の Zoom ミーティングに接続すること。
- ・Zoom ミーティングにはサインインした状態で接続し、名称欄には受験番号を表示させること。

(3) 資料利用

- ・口述試験で、説明資料を用いる場合は、試験委員にその旨申し出て、Zoom の画面共有にて使用すること。

3. 注意事項

(1) 室内環境

- ・静粛さを保証できる部屋で、受験生本人以外は居ない状態にすること。
- ・試験時間中に他人が部屋に入ることを禁止する。また、メールや SNS などいかなる手段においても、他人との連絡を禁止する。
- ・試験時間中は飲食を禁止する。
- ・試験時間中のバーチャル背景の使用を禁止する。
- ・試験時間中に大きな音を立てることを禁止する。

(2) 録音および録画

- ・試験時間中の受験者側による録音および録画は、いかなる手段においても禁止する。
- ・受験中の状況を確認するため、試験実施側は Zoom ミーティングの録音および録画を行う。ただし、録音および録画のデータは、選考が終了次第、適切に破棄する。

(3) 服装

- ・志願時に提出した顔写真データと照合を行うため、帽子などで顔が隠れない状態で受験すること。マスクなどを着用している場合は、外すように指示を出す場合がある。
- ・入学試験にふさわしい服装で受験すること。

(4) 机上的におけるもの

- ・PC、キーボード、マウスまたはトラックパッド、イヤホンまたはヘッドセット
- ・受験票
- ・緊急連絡用に出願時に電話番号を届け出ている通信機器（スマートフォンなど）

(5) その他

- ・機器の準備および通信費用は受験者が負担する。
- ・機器およびソフトウェアなどの利用に関するサポートは、本学は一切行わない。受験者の責任において確認すること。
- ・試験実施者側の指示に従わない場合、不正行為として受験を中止させる。
- ・SNS などに試験内容や受験の様子をアップすることを、いかなる形においても禁止する。アップが確認された場合、不正行為とみなす。
- ・不正行為と認められた場合、入学試験を無効とする（入学検定料は返還しない）。

以上